MetaMoJi ClassRoom
管理者ガイド

第 26 版

MetaMoJi ClassRoomのバージョンの混在利用について

異なるバージョンのMetaMoJi ClassRoomを混在してご利用される場合、
新しいバージョンで作成したノートが古いバージョンで開けないなどの
問題が発生することがあります。バージョンを統一してご利用ください。

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Chromebook、Android、Google、Google Drive、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apache、OpenOffice、Apache OpenOffice は Apache Software Foundation の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2025 年 2 月 26 日 ©2025 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、MetaMoJi ClassRoomの導入・運用の方法について説明しています。

MetaMoJi ClassRoomのサポートページに、本書やマニュアル、ツール類へのリンクなどが公開されていますので、ご活用ください。

MetaMoJi ClassRoom（サポートページ）

https://product.metamoji.com/education/support/

目次

はじめに..2

1. 概要..5

1.1. システム概要 5
1.1.1. 管理者・ユーザーの役割 6
1.2. ユーザーや年度・クラスの管理 7
1.2.1. ユーザーの登録・識別 7
1.2.2. 年度とクラスによる管理 7
1.2.3. クラスでデータ共有 7
1.2.4. 年度の更新..8
1.3. データの共有・管理 8
1.3.1. マイボックスとクラスボックス・共有ボックス 8
1.3.2. 同期 9
1.3.3. デバイスのワイプ 9
1.4. Web 管理ツールの機能一覧..10

2. 導入..12

2.1. ログイン情報を準備する..12
2.2. （オンプレミス版のみ）学校を登録する 13
2.3. ビルトイン管理ユーザーの設定を変更する 15
2.3.1. Web 管理ツールにログインする 15
2.3.2. ビルトイン管理ユーザーのユーザーID とパスワードを変更する 16
2.4. （オンプレミス版のみ）購入製品をアクティベーションする 17
2.5. Web 管理ツールでユーザーや年度・クラスを登録する 18
2.6. MetaMoJi ClassRoom を準備する 18
2.6.1. MetaMoJi ClassRoom の動作環境 18
2.6.2. MetaMoJi ClassRoom をインストールする..19
2.6.3. MetaMoJi ClassRoom にログインする 19
2.6.4. ログアウトする..23
2.7. MetaMoJi ClassRoom に含まれるツールを準備する 24
2.7.1. MetaMoJi アシスタント 24
2.7.2. 授業コーディネーター 24
2.7.3. InOutBox..24
2.8. ユーザーへ連絡する 24

3. 運用..25

3.1. MetaMoJi ClassRoom の機能をカスタマイズする 25
3.1.1. セキュリティをカスタマイズする 25
3.1.2. アクセスする IP アドレスを管理する 27
3.1.3. ユーザーインターフェイスをカスタマイズする 28

3.2. 利用状況を確認する 29
3.2.1. ライセンス証書を確認する 29
3.2.2. ライセンスやストレージの利用状況を確認する 30
3.2.3. クラスの利用状況を確認する 32
3.2.4. 操作ログを確認する 33
3.3. データを復元する 38
3.4. ユーザー情報を管理する 39
3.4.1. ユーザーの情報を確認・変更する 39
3.4.2. ユーザーを削除する 40
3.5. クラスを管理する 42
3.5.1. クラスメンバーの設定を編集する 42
3.5.2. クラスからメンバーを削除する 44
3.5.3. クラスを削除する 45

4. こんなときは 46

4.1. 管理者 ID やパスワードを忘れてしまったら 46
4.2. ビルトイン管理ユーザーのユーザーID・パスワードを忘れた（オンプレミス版） 46
4.2.1. Linux の場合 46
4.2.2. Windows の場合 46
4.3. ユーザーID やパスワードを忘れてしまったら 47
4.4. 生徒にパスワードを変更させたい 48
4.5. QR コードを紛失してしまったら 49
4.6. QR コードを特定のクラスの分だけ印刷したい 50
4.7. MetaMoJi ClassRoom にログインできない 51
4.7.1. 「現在年度のクラスに所属しない生徒であるため、ログインできません」と表示される 51
4.7.2. 「同時にログインできるユーザー数の上限を超えています」と表示される 51
4.8. MetaMoJi ClassRoom からログアウトできない 51

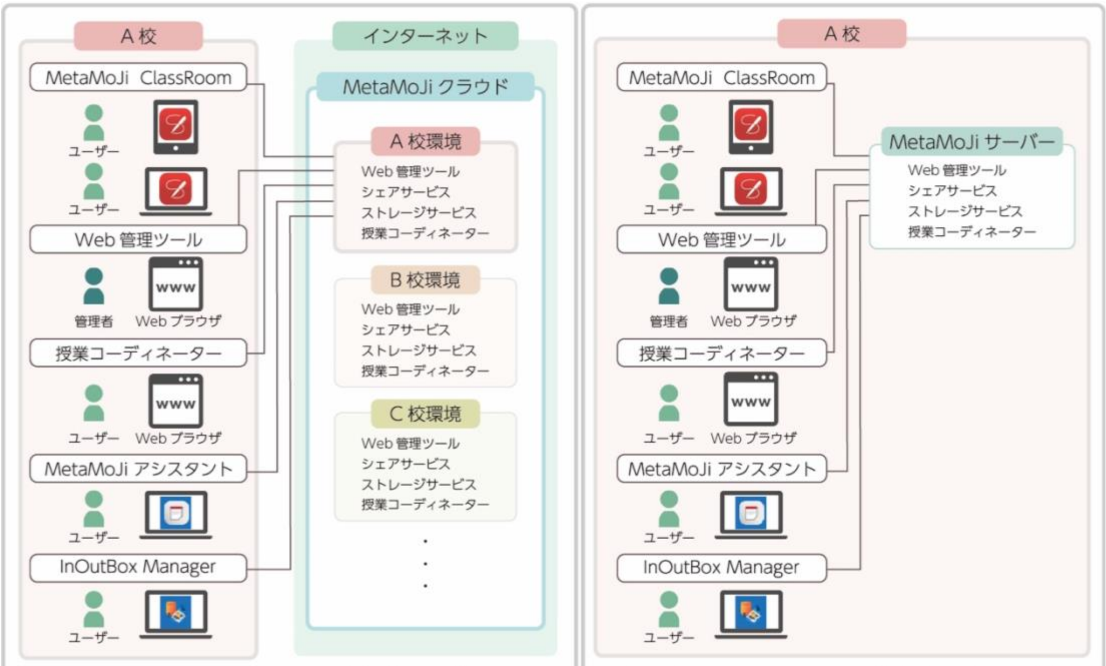
5. 技術情報 52

5.1. プロキシサーバーやフィルタリングソフトを経由して利用する場合 52
5.2. MDM によるログイン情報の配布（iOS 版） 54
5.2.1. 指定できるキー 54
5.2.2. Apple Configurator 用配布書類 54

1. 概要

ここでは、MetaMoJi ClassRoom全体の概要を説明しています。
操作手順は、2.導入（P.12）からご確認ください。

1.1. システム概要



MetaMoJi ClassRoom システム構成（クラウド版）　MetaMoJi ClassRoom システム構成（オンプレミス版）

- 本書では、「MetaMoJiクラウド」と「MetaMoJiサーバー」をMetaMoJiサーバーと記載します。
- クラウド版は、家庭や他校からも利用できます。

項目	説明
MetaMoJi ClassRoom アプリ	iPad／Windows®・Chromebookデバイス上で動作する「MetaMoJi ClassRoom」のアプリです。MetaMoJi ClassRoom上でmazecが動作します。
Web管理ツール（MetaMoJi Enterprise Products 管理ツール）	ユーザー登録や年度・クラスの管理をしたり、MetaMoJi ClassRoomやサービスの利用状況を確認したりするためのツールです。管理者がWebブラウザで使用します。
授業コーディネーター	WebブラウザでPDFやイメージデータをアップロードして、MetaMoJi ClassRoomのノートや授業ノートとして配布できるツールです。先生がWebブラウザで使用します。
MetaMoJi アシスタント	Windows PCにMetaMoJiアシスタントをインストールして利用すると、Windows PCに保存されている教材（Microsoft OfficeのファイルやPDFなど）を読み込んでMetaMoJi ClassRoomのノートを作成できます。

	Microsoft Officeのファイルを読み込む場合には、MetaMoJiアシスタントを利用するWindows PCに、Microsoft Officeがインストールされている必要があります
MetaMoJi InOutBox Manager	Windows PCにInOutBox Managerをインストールすると、MetaMoJiサーバーのマイボックス内にあるInOutBox領域を利用して、Windows PCとiOS版のMetaMoJi ClassRoomの間でファイルをやりとりできるようになります。Windows PCで作成したファイルをMetaMoJi ClassRoomで読み込んだり、MetaMoJi ClassRoomで作成・編集したノートをWindows PCで確認したりできます。
MetaMoJiクラウド（クラウド版）	Web管理ツールやストレージサービスを運営するクラウドサービスです。
MetaMoJiサーバー（オンプレミス版）	Web管理ツールやストレージサービスを運営するサーバーです。オンプレミスサーバー内で稼働します。
シェアサービス	授業ノートの情報を配信・保管するコミュニケーションサービスです。
ストレージサービス	MetaMoJi ClassRoomのデータを保管するサービスです。

1.1.1. 管理者・ユーザーの役割

管理者は、Web管理ツールを使用して、ユーザー（先生や生徒）を登録したり、年度やクラスを管理したり、MetaMoJi ClassRoom・サービスの利用状況を確認したりします。

登録された**ユーザー**は、iPadやWindows・Chromebookデバイスで、MetaMoJi ClassRoomを使用します。先生がMetaMoJi InOutBox ManagerやMetaMoJiアシスタント、授業コーディネーターを併用する場合は、これらのツールを、それぞれWindows PCやWebブラウザで使用します。

1.2. ユーザーや年度・クラスの管理

ここでは、ユーザーや年度・クラスの管理についての概要を記載しています。操作手順は、「2.5. Web管理ツールでユーザーや年度・クラスを登録する（P.18）」にてご確認ください。

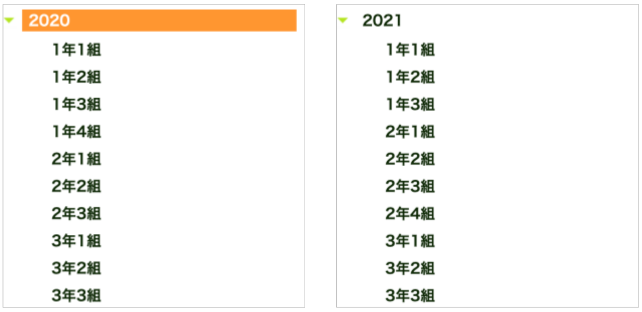
1.2.1. ユーザーの登録・識別

管理者は、MetaMoJi ClassRoomを利用する先生や生徒を**Web管理ツール**でユーザー登録します。ユーザー登録をするときに、個別に**ユーザーID**や、先生かどうかを登録したりするので識別することができます。

ユーザーは、その**ユーザーID**を使って、MetaMoJi ClassRoomのアプリや、授業コーディネーターなどのツールにログインします。先生と生徒では、利用できる機能が異なります。

1.2.2. 年度とクラスによる管理

MetaMoJi ClassRoomでは、年度ごとに**クラス**を登録します。



年度とクラスの構成例

- 学年・組のほか、委員会やクラブなどもクラスとして登録できます。

年度とクラスを登録したあとで、クラス分けをします。クラスごとにユーザーに**出席番号**を登録するので、クラス内では出席番号でユーザーを識別することもできます。

- 生徒がMetaMoJi ClassRoomを使用するには、必ずクラスに所属している必要があります。

1.2.3. クラスでデータ共有

同じクラスのユーザーは、**クラスボックス**を介して、MetaMoJi ClassRoomで作成したノートを共有します。クラスボックスは、クラスごとに自動で作成される、データ共有のためのフォルダのようなものです。ユーザーは、MetaMoJi ClassRoomにログインするだけで、所属するクラスのクラスボックスを使用できます。

1.2.4. 年度の更新

年度が変わるときは、新年度のクラスを準備して年度を切り替える操作を行います。
MetaMoJi ClassRoomでは、Web管理ツールで選んだ年度で、ログイン処理が行われます。

- 共有ボックスは、年度更新の対象外となり残り続けます。必要に応じて共有ボックスのメンバーを変更したり、共有ボックスを個別に削除したりします。操作方法は、MetaMoJi ClassRoomのマニュアルをご覧ください。→ はじめに（P.2）

進級した生徒の場合

管理者がWeb管理ツールで新年度に切り替える操作をすると、ノート一覧画面に新年度のクラスボックスが表示され、使用できるようになります。

新年度に切り替えられる前に使用していたクラスボックスは、過去のクラスボックスに移動します。過去のクラスボックスに移動した学習内容も、新年度のクラスボックスと同じように開いて振り返ることができます。

- 該当するクラスボックスがなければ、過去のクラスボックスは表示されません。

卒業した生徒の場合

2022年3月のバージョンアップより、現在の年度のクラスに所属していない生徒（卒業生や転校した生徒など）がログインすると、在校していたときに作成・参加したノート・授業ノートを閲覧できるようになりました。

- 現在の年度のクラスに所属していない生徒は、卒業生としてログインします。卒業生としてログインする場合は、ライセンスは消費されません。
- 卒業生は、マイボックスと過去のクラスボックスを閲覧可能です。ノート・授業ノートは、閲覧のみ可能で、編集できません。また、新規ノートは作成できません。

1.3. データの共有・管理

1.3.1. マイボックスとクラスボックス・共有ボックス

ユーザーがMetaMoJi ClassRoomで作成したノートは、マイボックスまたはクラスボックス・共有ボックスに保存されます。

マイボックスは、ユーザーごとに用意されるデータの保存場所です。マイボックスに保存されたノートは、他のユーザーには見えません。自分専用のノートを作りたいときや、ノートを配布する前の準備をするときにマイボックスを使います。

クラスボックス・共有ボックスは、ノートをほかの先生や生徒と共有するときに使用します。先生は、MetaMoJi ClassRoomでクラスボックスや共有ボックスを作成したり、クラスボックス・共有ボックスごとに参加するメンバーを設定したりできます。クラスボックス・共有ボックスのメンバーに設定されると、MetaMoJi ClassRoomにログインするだけで、すぐにクラスボックス・共有ボックスを使用できます。

1.3.2. 同期

MetaMoJi ClassRoomでは、MetaMoJiサーバーと同期をとることでデータを保管・共有できます。同期は自動で行われるため、通常、ユーザーが同期をとる必要はありません。

- ローカルのデータがMetaMoJiサーバーへアップロードされると同時に、MetaMoJiサーバーのデータがローカルへダウンロードされ、データを最新の状態に保つことができます。
- クラスボックス・共有ボックスでは、同期をとると、メンバーの間で最新のデータを共有できます。
- 使用するデバイスが変わったときも、MetaMoJi ClassRoomにログインして同期をとると、MetaMoJiサーバーに保管された自分のデータを使用できます。

同期の対象となるのは、次のデータです。

- ノート・授業ノート・ノートテンプレート
- マイボックス・表示されているクラスボックス・共有ボックス
- 各ボックスのフォルダ
- マイアイテム
- 参加者セット*1
- MetaMoJi ClassRoomの設定*1
- mazecの登録・学習内容*1

*1 ログアウトするときにMetaMoJiサーバーに保存され、ログインするときにダウンロードされます。また、OSごとに保存されるため、異なるOS間では共有できません。

1.3.3. デバイスのワイプ

MetaMoJi ClassRoomからログアウトすると、ローカルにダウンロードされた上記のデータは削除されます。ログインするたびに、MetaMoJiサーバーのデータがダウンロードされ、使用できるようになります。

ℹ 以下の機能で連携するアプリケーションのアカウント情報は、ログアウトしても削除されません。ローカルに保存されたままになります。ログインするユーザーを切り替えて使用する場合は、ご注意ください。
・ログイン先の情報（学校ID・サーバーURL）
・インポート（iOS版）
・ストレージに送る（iOS版）
・（クラウドサービス名）に送る（iOS版）
・アプリケーションに送る など

1.4. Web 管理ツールの機能一覧

機能			説明
ユーザー登録・年度更新	ユーザー・クラス管理	ユーザー一括登録	ExcelファイルやCSVファイルを使って、ユーザーの登録や変更を一括して行います。
		年度・クラス管理	年度・クラスの登録や変更を行います。各クラスへのメンバー追加やmazecの利用設定もできます。
		クラス分け（新方式）	Excel形式のファイルまたはCSVファイルを使って、ユーザーのクラス分けを一括で設定します。
	ユーザー一覧	ユーザーを新規登録	MetaMoJi ClassRoomやWeb管理ツールなどのツールを使用するユーザーを登録します。
		ユーザー情報の変更	登録済みユーザーの情報を変更します。 ユーザーがパスワードを忘れた場合は、パスワードをリセットして仮パスワードを発行できます。
		選択ユーザーを削除	登録済みユーザーを削除します。
	QRコード一覧		MetaMoJi ClassRoomにログインするQRコードを表示します。クラス別QRコード一覧を表示したり、印刷したりすることもできます。（P.20）
	年度の切り替え		年度を切り替えて、新年度に登録したクラスでの運用を開始します。
外部システムアカウント取込関連	Google アカウント取り込みの設定		Google Classroomに登録されている情報を取り込むための設定をします。（P.22）
	Microsoft アカウント取り込みの設定		Microsoft 365 Educationに登録されている情報を取り込むための設定をします。（P.22）
学習eポータル関連	学習eポータルからのアクセス情報		学習eポータルよりアクセスを行う為に必要な情報を表示します。（P.22）
利用状況	利用状況		契約しているプランや、MetaMoJi ClassRoom・サービスの利用状況を確認します。
	利用状況推移		月別の利用状況を確認します。
	操作ログ		ユーザーによる操作のログを確認します。（P.33）
その他	カスタマイズ設定		MetaMoJi ClassRoomで利用可能な機能をカスタマイズします。（P.25）
	ビルトイン管理ユーザーの設定		あらかじめ用意されているビルトイン管理ユーザーのユーザーID・パスワードを変更します。 ［ビルトイン管理ユーザー］でログインしたときのみ表示されます。
	購入製品のアクティベーション（オンプレミス版）		購入した製品を利用できるようにします。

	データの復元	誤って削除してしまったユーザーや、クラスボックス・共有ボックスを復元します。復元できる期間は、過去10日間です。（P.38）
	ライセンス証書一覧	ライセンス証書をダウンロードします。（P.29） ダウンロード可能なライセンス証書がある場合のみ表示されます。
	ダウンロード／リンク	マニュアルやツールをダウンロードします。
	ログアウト	ログアウトして、管理者による操作を終了します。

2. 導入

2.1. ログイン情報を準備する（P.12）
▼
2.2. （オンプレミス版のみ）学校を登録する（P.13）
▼
2.3. ビルトイン管理ユーザーの設定を変更する（P.15）
▼
2.4. （オンプレミス版のみ）購入製品をアクティベーションする（P.17）
▼
2.5. Web 管理ツールでユーザーや年度・クラスを登録する（P.18）
▼
2.6. MetaMoJi ClassRoom を準備する（P.18）
▼
2.7. MetaMoJi ClassRoom に含まれるツールを準備する（P.24）
▼
2.8. ユーザーへ連絡する（P.24）

2.1. ログイン情報を準備する

- 本製品の利用を申し込みいただくと、次の情報が販売元より送付されます。
  以下の情報を手元に用意します。以降の作業で使用します。

項目	説明
Web管理ツールのURL、 管理者ID、 初期パスワード（クラウド版）	Web管理ツールにアクセスするアドレス（URL）、 ビルトイン管理ユーザーのユーザーID（「admin」）、 パスワードです。
学校ID	お客様を識別するためのID（半角英字2文字＋6桁の半角数字）です。 例:MC123456

- オンプレミス版では、次の情報も必要です。

項目	説明
学校名	お客様の名称です。
ライセンスキー	購入した製品を識別するための32桁の英数字です。

また、以下の情報を環境構築の担当者に確認しておきます。

項目	説明
MetaMoJiサーバーの サーバーURL	MetaMoJi ClassRoomにログインするときや、ツールへアクセスするときに使うアドレスです。
学校登録ツールのユーザーID・ パスワード	学校登録ツールにログインするときのユーザーIDとパスワードです。

2.2. （オンプレミス版のみ）学校を登録する

オンプレミス版では、オンプレミスサーバーでWeb管理ツールを利用できるようにするため、学校を登録します。

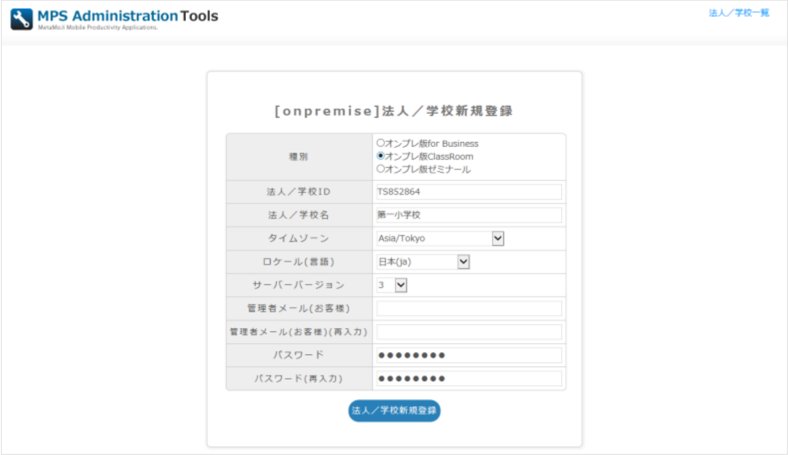
①Web ブラウザで、学校登録ツールの URL にアクセスします。

🔗 http://server.com/mpsAdminWeb/

- http://server.comは、お客様のMetaMoJiサーバーのサーバーURLに変更してください。

②環境構築の担当者に確認した、学校登録ツールのユーザーID とパスワードを入力し、［ログイン］を押します。

③次の項目を入力したり、選んだりします。



種別	［オンプレ版ClassRoom］を選びます
法人/学校ID	2.1. ログイン情報を準備する（P.12）の［学校ID］を入力します。
法人/学校名	2.1. ログイン情報を準備する（P.12）の［学校名］を入力します。
サーバーバージョン	［3］を選びます。
パスワード	ビルトイン管理ユーザー「admin」で、管理ツールにログインするための初期パスワードを入力します。 ・パスワードは8文字以上で設定します。 ・パスワードは、ビルトイン管理ユーザーで管理ツールにログインしたあと、変更できます。

- ［管理者メール（お客様）］は現在使用していないため、未入力のままでかまいません。

④［法人／学校新規登録］を押します。

登録が完了すると、学校の一覧が表示されます。

⑤登録した学校の［管理者ツールにログインする］を選びます。

⑥Web 管理ツールにログインする画面が表示されるので、次の情報を入力します。

- 学校ID
  手順③で設定した学校IDがあらかじめ入力されています。
- ビルトイン管理ユーザーのユーザーID
  「admin」と入力します。
- 手順③で設定した初期パスワード

⑦［ログイン］を押し、Web 管理ツールにログインできることを確認します。

2.3. ビルトイン管理ユーザーの設定を変更する

セキュリティ確保のため、最初にビルトイン管理ユーザーのユーザーIDとパスワードを変更します。

2.3.1. Web 管理ツールにログインする

「2.1. ログイン情報を準備する（P. 12）」で用意した情報を利用します。

①Web ブラウザで、Web 管理ツールにアクセスします。

- Google Chrome、Microsoft Edge、Safariの最新版をご利用ください。
- Microsoft EdgeのInternet Explorerモード（IEモード）でのご利用は、サポート対象外です。

https://mps.metamoji.com/admintool

Web 管理ツール

- オンプレミス版の場合

http://server.com/admintool/

http://server.comは、お客様のMetaMoJiサーバーのサーバーURLに変更してください。

②ログイン画面が表示されるので、次の情報を入力します。

- 学校ID
- ビルトイン管理ユーザーのユーザーID
  初期値は「admin」です。
- Web管理ツールの初期パスワード

③［ログイン］を押し、Web 管理ツールにログインします。

［管理者メニュー］を押して、メニューを選ぶこともできます。

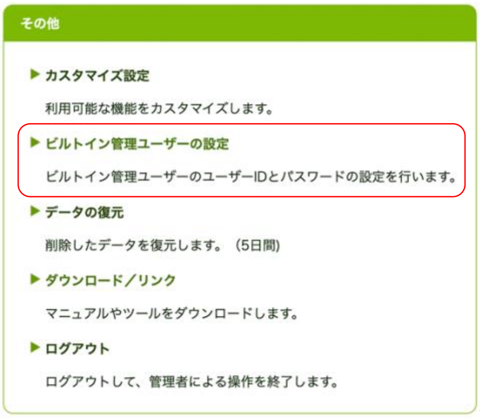
→1.4. Web 管理ツールの機能一覧（P.10）

- Web管理ツールにログイン後、操作を行わないで60分が経過すると自動でログアウトします。

2.3.2. ビルトイン管理ユーザーのユーザーID とパスワードを変更する

①Web 管理ツールにログインし（P.15）、［ビルトイン管理ユーザーの設定］を選びます。

- ビルトイン管理ユーザーでログインしたときのみ表示されます。



②［ユーザーID の変更］で、新しいユーザーID と、Web 管理ツール初期パスワードを入力し、［変更］を押します。

③変更を知らせるメッセージが表示されたら、［管理者メニューに戻る］を選びます。

④再度、［ビルトイン管理ユーザーの設定］を選びます。

⑤［ビルトイン管理ユーザーの設定］画面の［パスワードの変更］で、Web 管理ツールの初期パスワードと、新しいパスワードを入力し、［変更］を選びます。

パスワードは 8 文字以上で設定します。

⑥変更を知らせるメッセージが表示されたら、［管理者メニューに戻る］を選びます。

注意：変更したユーザーIDとパスワードは忘れないようにしてください

クラウド版では、ユーザーID・パスワードを忘れると、ビルトイン管理ユーザーでWeb管理ツールにログインできなくなります。
オンプレミス版ではユーザーIDとパスワードをリセットできます。

→4.2. ビルトイン管理ユーザーのユーザーID・パスワードを忘れた（オンプレミス版）（P.46）

補足：ビルトイン管理者ユーザーに加えて、Web 管理ツールで任意の先生ユーザーに管理者権限を与えることもできます。

→3.4.1 ユーザーの情報を確認・変更する（P.39）

2.4. （オンプレミス版のみ）購入製品をアクティベーションする

オンプレミス版では、購入した製品を利用できるようにするため、ライセンスキーを入力してアクティベーションを実行します。製品を追加購入したときも、その製品のアクティベーションが必要です。

①Web 管理ツールにログインし（P.15）、［アクティベーション］を選びます。

②ライセンスキーを入力して［アクティベート］を選びます。

③複数のライセンスキーを入力する場合は、［続けて別のライセンスキーを入力する］を選び、ライセンスキーを入力して［アクティベート］を選びます。

④手順③を繰り返して、アクティベーションを実行します。

⑤アクティベーションが終わったら、［閉じる］を選びます。

2.5. Web 管理ツールでユーザーや年度・クラスを登録する

MetaMoJI ClassRoomのアプリを使うためには、Web管理ツールで先生や生徒をユーザー登録し、クラス分けをする必要があります。

ユーザー登録とクラス管理、年度更新については、別文書「MetaMoJi ClassRoom ユーザー登録・年度更新ガイド［新方式］」をご参照ください。

- 共有ボックスは、年度更新の対象外となり残り続けます。必要に応じて共有ボックスのメンバーを変更したり、共有ボックスを個別に削除したりします。
  操作方法は、MetaMoJi ClassRoomのマニュアルをご覧ください。→ はじめに（P.2）

2.6. MetaMoJi ClassRoom を準備する

任意の生徒のアカウント情報を利用して、MetaMoJi ClassRoomへログインできるかどうか確認します。

注意：MetaMoJi ClassRoomのバージョンの混在利用について

異なるバージョンのMetaMoJi ClassRoomを混在してご利用される場合、新しいバージョンで作成したノートが古いバージョンで開けないなどの問題が発生することがあります。
バージョンを統一してご利用ください。

2.6.1. MetaMoJi ClassRoom の動作環境

OS	iPad・iPhone	iOS 11.4以降 ・iPadシリーズ：iPad（第5世代）、Air、Air2、Pro以降 ・iPad miniシリーズ：4以降 ・iPhoneシリーズ： 6s／6s Plus、SE以降
	Chromebook	Androidバージョン9.0以上
	Windows	Microsoft Windows 10 Fall Creators Update（バージョン1709）以上 長期サービスチャネル（LTSC）の場合は、2019 LTSC以降
	Mac	macOS 11.0以降とApple M1チップを搭載したMacが必要

- プロキシサーバーやフィルタリングソフトを経由して利用する場合、MetaMoJi ClassRoomの通信をURLフィルタリングやコンテンツフィルタリング（SSLデコードを含む）の対象から除外していただく必要があります。詳しくは「5.1. プロキシサーバーやフィルタリングソフトを経由して利用する場合（P.52）」をご参照ください。

2.6.2. MetaMoJi ClassRoom をインストールする

MetaMoJi ClassRoomを、App Store・WindowsストアまたはGoogle Play™からインストールします。

補足：学校内で Microsoft ストアの利用を制限されている場合、サイドローディングという方法を使い、Windows ストアを介さず直接コンピュータにインストールすることができます。

補足：ChromeOS のデバイスへ MetaMoJi ClassRoom を一括インストールする手順は、Chrome Enterprise and Education のヘルプからご確認ください。

2.6.3. MetaMoJi ClassRoom にログインする

インストールしたMetaMoJi ClassRoomを開きます。

通知の許可やカメラへのアクセスを確認するメッセージが表示された場合は、許可します。

MetaMoJi ClassRoomにログインする方法を次の5つから選ぶことができます。

2.6.3.1 QR コードでログイン（P. 20）

2.6.3.2 MetaMoJi でログイン（P.21）

2.6.3.3 クラス・出席番号でログイン（P. 22）

2.6.3.4 Microsoft でログイン（P. 22）

2.6.3.5 Google でログイン（P. 22）

2.6.3.6 補足:学習 e-ポータルからログイン（P.22）

2.6.3.1. QR コードでログイン

①ログイン方法を選ぶ画面で、［QR コードを使用してログイン］を押します。

- カメラへのアクセスを求めるメッセージが表示されるので、許可します。

②管理者から配布された QR コードをカメラにかざします。

ログインキーを含むQRコードをカメラにかざすと、MetaMoJi ClassRoomに自動的にログインします。

- ログインキーを含まないQRコードの場合は、初期パスワード入力して［**ログイン**］を選びます。
- ［QRコード］のカメラ画像が表示された部分をタップすると、フロントカメラ（前面）・メインカメラ（背面）を切り替えることができます。

補足：ログイン画面にカメラ画像が表示されない場合

- iPad／iPhoneの場合
  ［設定］ > ［プライバシー］の［カメラ］で［ClassRoom］をオンにして、MetaMoJi ClassRoomのカメラへのアクセスを許可します。
- Windowsの場合
  ［設定］ > ［プライバシー］で、［カメラ］の［アプリがカメラにアクセスできるようにする］と［カメラにアクセスできるアプリを選ぶ］の［MetaMoJi ClassRoom］をオンにします。

補足：QR コードを印刷する

①Web 管理ツールにログインし（P.15）、［QR コード一覧］を選びます。
QR コードの一覧が表示されます。

- ［▶クラス別QRコード一覧］を選ぶと、クラスを選んで印刷できます。
  →4.6. QRコードを特定のクラスの分だけ印刷したい（P.50）

②用紙に印刷し、カッターなどで切り分けて配布します。

2.6.3.2. MetaMoJi でログイン

①ログイン方法を選ぶ画面で、［MetaMoJi でログイン］を押します。

②学校 ID を入力して、［完了］を押します。

- オンプレミス版では［学校ID］と［サーバーURL］を入力します。
- 一度ログインすると、学校IDが保存されます。以降、同じデバイスでログインするときは入力が不要になります。

③「ユーザーID」「パスワード」を入力します。

補足：複数の学校 ID を使用する場合

ログイン画面の［学校 ID］の右側にある を選び、ログイン先を追加します。
一度追加したログイン先は保存され、この画面で選べるようになります。

④［ログイン］を押します。

MetaMoJi ClassRoom にログインします。

2.6.3.3. クラス・出席番号でログイン

①ログイン方法を選ぶ画面で、［クラス・出席番号でログイン］を押します。

②学校 ID を入力して、［完了］を押します。

- オンプレミス版では［学校ID］と［サーバーURL］を入力します。
- 一度ログインすると、学校IDが保存されます。以降、同じデバイスでログインするときは入力が不要になります。

③［クラス］と［出席番号］をタップして選び、［パスワード］を入力します。

④［ログイン］を押します。

MetaMoJi ClassRoom にログインします。

2.6.3.4. Microsoft でログイン

「Microsoftでログイン」を利用するためには、Microsoft 365 Educationに登録されている情報を、あらかじめMetaMoJi ClassRoomに取り込んでおく必要があります。
別文書「MetaMoJi ClassRoom に Microsoft アカウントでログインする」をご参照ください。

2.6.3.5. Google でログイン

「Googleでログイン」を利用するためには、Google Classroomに登録されている情報を、あらかじめMetaMoJi ClassRoomに取り込んでおく必要があります。
別文書「MetaMoJi ClassRoomにGoogleアカウントでログインする」をご参照ください。

2.6.3.6. 補足:学習 e-ポータルからログイン

学習e-ポータルにログインできるMicrosoftのアカウント、もしくはGoogleアカウントを使って、MetaMoJi ClassRoomにログインできます。
別文書「学習 e-ポータルから MetaMoJi ClassRoom にログインする」をご参照ください。

2.6.4. ログアウトする

確認が終わったら、MetaMoJi ClassRoomのノート一覧で、 > ［ログアウト］を選んでログアウトします。

- ログインすると、左上にログインしたユーザーの名前が表示されます。
- 同期をとっていないデータがある場合にログアウトしようとするとメッセージが表示されるので、データを破棄してそのままログアウトするか、同期をとるかを選びます。

注意：MetaMoJiサーバーに接続できないときは、上記の方法ではログアウトできません

→4.8. MetaMoJi ClassRoomからログアウトできない（P.51）

2.7. MetaMoJi ClassRoom に含まれるツールを準備する

MetaMoJi アシスタント、授業コーディネーターを利用する場合は、任意のユーザーのアカウント情報を利用して各ツールにログインできるかどうか確認します。

2.7.1. MetaMoJi アシスタント

MetaMoJiアシスタント（Windowsアプリ）をダウンロードしてインストールし、ログインできるか確認します。

別文書「MetaMoJアシスタントの使い方」をご参照ください。

MetaMoJi アシスタントの使い方

2.7.2. 授業コーディネーター

Webブラウザを開いてログインし、授業コーディネーターにアクセスできるか確認します。

別文書「授業コーディネーターの使い方」をご参照ください。

授業コーディネーターの使い方
（MetaMoJi ClassRoom）

2.7.3. InOutBox

別文書「InOutBoxの使い方」をご参照ください。

InOutBox の使い方

2.8. ユーザーへ連絡する

ユーザーに、MetaMoJi ClassRoomアプリにログインする方法を連絡します。
ログインに必要なアカウント情報を連絡したり、QRコードを配布したりします。

先生には、「学校ID」「ユーザーID」「パスワード」もお知らせください。
Webブラウザで「授業コーディネーター」を利用するときに必要です。

3. 運用

3.1. MetaMoJi ClassRoom の機能をカスタマイズする

ユーザーが使用するMetaMoJi ClassRoomの機能を一律でカスタマイズできます。
カスタマイズした内容は、MetaMoJi ClassRoomで同期をとると、反映されます。

3.1.1. セキュリティをカスタマイズする

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［その他］の［カスタマイズ設定］を選びます。

②［セキュリティ］機能をカスタマイズします。
各項目について詳しくは、以下「3.1.1.1」～「3.1.1.11」をご参照ください。

- 各項目の対象OSは、「カスタマイズ設定」画面でご確認ください。

③画面右上の［保存］を押します。
「保存しました。」と表示されます。

- 変更を有効にするためには、MetaMoJi ClassRoomで同期をとります。

3.1.1.1.メール送信、WebDAV 連携

初期値：利用する

MetaMoJi ClassRoomで［利用する］か［利用しない］かを選びます。

3.1.1.2.ストレージサービス連携、iTunes 連携

初期値：利用する

MetaMoJi ClassRoomで［利用する］か［利用しない］かを選びます。

3.1.1.3. InOutBox

初期値：利用する

MetaMoJi ClassRoomと授業コーディネーター、InOutBoxマネージャで［利用する］か［利用しない］かを選びます。

3.1.1.4.アプリケーションに送る、プリンター印刷、ファイル保存

初期値：利用する

MetaMoJi ClassRoomで［利用する］か［利用しない］かを選びます。

3.1.1.5. 撮影した写真／動画をアルバムに保存

初期値：許可する

［許可しない］をオンにすると、MetaMoJi ClassRoomで「カメラから写真を追加」や「カメラから動画を追加」を選んで追加した写真や動画を各OSのアルバムに保存しない設定になります。

3.1.1.6. QR コードリーダー、Web ページ

初期値：利用する

MetaMoJi ClassRoomで［利用する］か［利用しない］かを選びます。

3.1.1.7. 生徒による Web ページのアドレス編集

初期値：許可する

［許可しない］を選び、［Webページの初期アドレス］に設定したいWebページのアドレスを入力します。生徒の検索に配慮されたWebページで検索できます。

3.1.1.8. 生徒によるクラスボックス／共有ボックスのノート操作（作成、移動）

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、生徒はノートを作成・移動できません。

3.1.1.9. 生徒による授業ノートの作成

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、生徒は授業ノートを作成できません。

3.1.1.10.生徒によるノートのパスワードの設定

初期値：許可しない

［許可する］を選ぶと、生徒はノートのパスワードを変更できます。

3.1.1.11.生徒によるアカウントのパスワード変更

初期値：許可しない

［許可しない］がオンのときは、生徒はMetaMoJi ClassRoomにログインするためのパスワードを変更できません。

3.1.2. アクセスする IP アドレスを管理する

セキュリティ確保のため、MetaMoJi ClassRoom、Web管理ツール、MetaMoJiアシスタント、授業コーディネーターにアクセスするデバイスをIPアドレスで制限することができます。MetaMoJiサーバーへのアクセスを学校内のネットワークだけに許可し、学校外からのアクセスを遮断できるので、セキュリティが向上します。

注意：IPアドレスが変更されログインできなくなった場合
MetaMoJi法人サポートにお問い合わせください。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［カスタマイズ設定］を選びます。

②IP アドレスの［アプリケーション］、［管理ツール］、［MetaMoJi アシスタント・コーディネーター］の［制限する］をオンにします。

③許可する IP アドレスを設定します。
- IPアドレスを複数設定する場合は、,（カンマ）でつなげます。
- /24 などIPアドレスの記述方法に対応しています。

④画面右上の［保存］を押します。
「保存しました。」と表示されます。

3.1.3. ユーザーインターフェイスをカスタマイズする

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［その他］の［カスタマイズ設定］を選びます。

②［ユーザーインターフェイス］機能をカスタマイズします。

各項目について詳しくは、以下「3.1.3.1」～「3.1.3.5」をご参照ください。

- 各項目の対象OSは、「カスタマイズ設定」画面でご確認ください。

③画面右上の［保存］を押します。

「保存しました。」と表示されます。

- 変更を有効にするためには、MetaMoJi ClassRoomで同期をとります。

3.1.3.1. 音声機能

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、音声機能が表示されません。

3.1.3.2. 動画機能

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、動画機能が表示されません。

3.1.3.3. ナビゲーションバーのカスタマイズ

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、MetaMoJi ClassRoomのノート一覧で☰>「カスタマイズ」が利用できません。

3.1.3.4. 最近使ったノートのタブ

初期値：許可する

［許可しない］を選ぶと、最近使ったノートのタブは表示されません。

3.1.3.5. 生徒の並び順（モニタリング等）

初期値：ユーザーID順

出席番号があれば出席番号順に並びます。

出席番号がなければ「ユーザーID（ログイン名）順」に並びます。

「ユーザーID順」を「名前順」に変更できます。

3.2. 利用状況を確認する

3.2.1 ライセンス証書を確認する（P.29）
3.2.2 ライセンスやストレージの利用状況を確認する（P.30）
3.2.3 クラスの利用状況を確認する（P.32）
3.2.4 操作ログを確認する（P.33）

3.2.1. ライセンス証書を確認する

2023年2月のバージョンアップより、Web管理ツールからご購入いただいた製品・サービスのライセンス証書をダウンロードしてご利用いただけるようになりました。

- ダウンロード可能なライセンス証書がある場合のみ表示されます。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、「ライセンス証書一覧」を選びます。

②ライセンス証書の一覧が表示されるので、［ダウンロード］を押します。

ライセンス証書がダウンロードされます。
ダウンロードすると、「状態」が「ダウンロード済み」になります。

③ダウンロードされたデータを開き、確認します。

MetaMoJi　ライセンス証書

発行日：
証書番号：LMC7G9C7F4-000

使用許諾権保有者：
ClassRoom YY 管理ツール確認用

契約保有者：
株式会社MetaMoJi
106-0032
東京都港区六本木1-7-27
全特六本木ビル EAST 4F

No.	製品	ライセンス数	ライセンス期限	
			開始日	終了日
1	MetaMoJi ClassRoom (with mazec日本語)	300	2022-03-01	2023-02-28

合計数：300

本製品は以下サイトに、システム管理者が下に記載された、法人ID、ユーザーID、パスワードにてログインいただき、ご利用になるユーザー登録を行ってください。
https://mps.metamoji.com/admintool/

法人ID　：
ユーザーID：
パスワード：

3.2.2. ライセンスやストレージの利用状況を確認する

ユーザーへのライセンスの割り当て数や、ストレージ容量・通信量を確認します。ストレージ容量・通信量が上限に近づいている場合は、プランの追加購入やデータの削除を検討します。

3.2.2.1. 学校全体の利用状況を確認する

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P.15）、［利用状況］を選びます。

②［アプリケーション/サービスのご利用状況］画面で、表示されている内容を確認します。

アプリケーション/サービスのご利用状況

updated : 2021/03/18 3:46:48 JST

アプリケーション/サービス		現在のご利用数量 再計算		ご利用数量の上限 詳細
MetaMoJi ClassRoom （同時接続数）		1	詳細	100
ストレージ（GB）	ノート	0.0	詳細	10000
	動画	0.0	詳細	
シェア通信量（GB）		0.0	詳細	無制限

項目	値
全ユーザー数（ビルトイン管理ユーザー含む）	20
先生数	1
生徒数	18
クラス数	21
年度数	3
授業ノート数	1
アプリの最終ログイン日時	2021/03/17 15:12:55 JST

- ログイン状況を確認する
  ［MetaMoJi ClassRoom（同時接続数）］で、現在ログイン中のユーザー数を確認できます。ユーザー数の横にある［詳細］を押すと、ログイン中のユーザー一覧を確認できます。
- ストレージ使用量を確認する
  ［ストレージ］の［詳細］を押すと、ノートと動画のボックス別ストレージの使用量一覧が表示されます。
- 毎月の授業ノート別シェア通信量を確認する
  ［シェア通信量］の［詳細］を押します。
- 契約しているプランを確認する（クラウド版）
  ［ご利用数量の上限］の［詳細］を押します。
  ℹ オンプレミス版では［ご利用数量の上限］の［詳細］は表示されません。
- ［全ユーザー数］、［先生数］、［生徒数］、［クラス数］、［年度数］、［授業ノート数］
  それぞれ、利用している学校IDでの利用数を表示します。
- ［アプリの最終ログイン日時］
  ClassRoomに最後にログインした日時を表示します。

3.2.2.2. 利用状況推移（月別）を確認する

2022年4月1日のバージョンアップより、利用状況の月別推移を確認できます。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P.15）、［利用状況推移］を選びます。

②表示された内容を確認します。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録ユーザー数（人）	先生	3											
	生徒（現在年度に所属）	39											
	生徒（現在年度に非所属）	12											
ログインユーザー数（人）	先生	0											
	生徒（現在年度に所属）	0											
	生徒（現在年度に非所属）	0											
授業ノート数	総数	9											
	新規作成数	3											
ストレージ使用量（GB）	ノート	0.0											
	動画	0.0											
シェア通信量（GB）		0.0											

2022年4月以降のデータが月別集計されます。 更新日時：2022/04/01 14:00:00 JST 最新データを反映

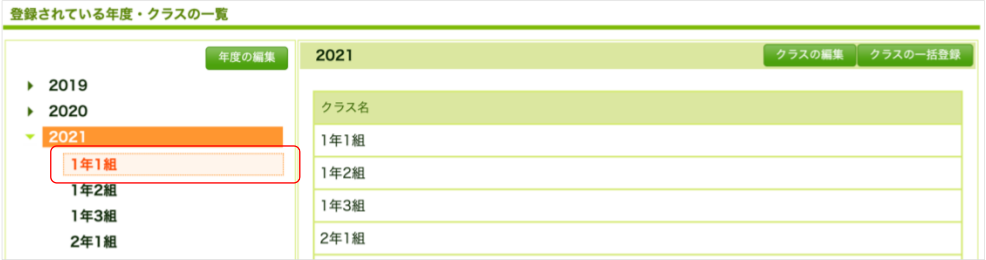
- 「生徒（現在年度に非所属）」は、MetaMoJi ClassRoomを利用していたことがあり、現在の年度に所属していない生徒（卒業生や転校した生徒など）をカウントします。
- 「ログインユーザー数」は、ログインしたユニークユーザー数をカウントします。（１人が複数回ログインしても、１回とカウントされます。）
- 「授業ノート数」の「総数」は、その時点での授業ノートの総数です。
- 「授業ノート数」の「新規作成数」は、その月に作成された授業ノートの数です。（削除された授業ノートの数も含みます。）

3.2.3. クラスの利用状況を確認する

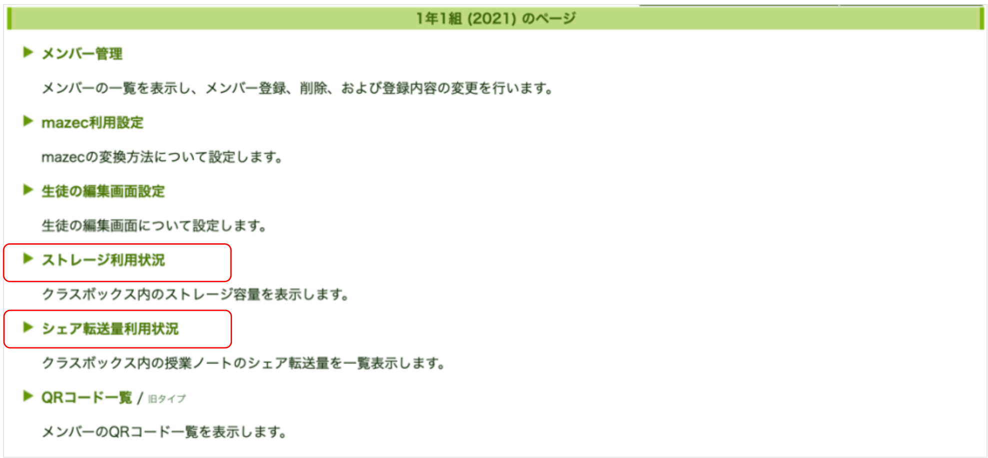
クラスごとのストレージ容量・通信量を確認します。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー・クラス管理］＞［年度・クラス管理］を選びます。

②［登録されている年度・クラスの一覧］画面でクラスを選びます。



③選択したクラスのページが表示されるので、確認したい情報を選びます。



- クラスボックスのストレージ使用量を確認する
  ［ストレージ利用状況］を選びます。
- クラスボックスにある授業ノート別シェア通信量を確認する
  ［シェア転送量利用状況］を選びます。

3.2.4. 操作ログを確認する

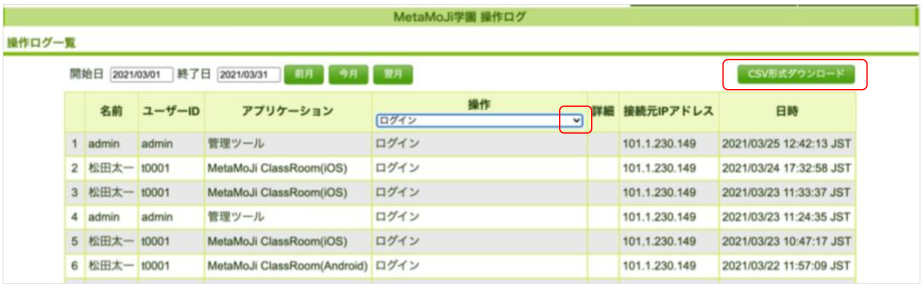
ユーザーが利用しているMetaMoJi ClassRoomや、授業コーディネーターへの操作履歴を表示して、不審なログインや操作がないか確認できます。

- 操作ログの保存期間は、1年間です。
- 「アプリケーション」に表示される「管理ツール」は、「Web管理ツール」のことです

3.2.4.1. 学校全体の操作ログを確認する

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［操作ログ］を選びます。

②［操作］の▼を選び、確認したい操作を選びます。



- ［CSVをダウンロード］を押して、操作ログをダウンロードして確認することもできます。

「操作」について

操作	操作のタイミング
ログイン	下記のアプリやツールで、ログイン操作をしたときと、デバイスが休止状態から復帰したとき MetaMoJi ClassRoom（OS名）、授業コーディネーター、Web管理ツール、MetaMoJi アシスタント、InOutBox Manager ・詳細には、MetaMoJi ClassRoomにログインした場合、MetaMoJi ClassRoomのバージョンとデバイス名が表示されます。
ログアウト	下記のアプリやツールで、ログアウト操作をしたとき MetaMoJi ClassRoom（OS名）、授業コーディネーター、Web管理ツール
ログイン失敗	下記のアプリやツールで、ログインに失敗したとき MetaMoJi ClassRoom（OS名）、授業コーディネーター、Web管理ツール、MetaMoJi アシスタント、InOutBox Manager ・詳細には、ログインに失敗した理由が表示されます。
ボックス作成 ボックス削除	MetaMoJi ClassRoomで、管理者の先生がボックスを作成・削除したとき ・「詳細」には、ボックス名が表示されます。
授業ノート作成	MetaMoJi ClassRoomで、授業ノートを配布しとき ・「詳細」には、授業ノート名が表示されます。
授業ノート削除	MetaMoJi ClassRoomのノート一覧画面で、≡＞「授業ノートの管理」から授業ノートを終了（削除）したとき

	「詳細」には、授業ノート名が表示されます。
授業ノートを開く	MetaMoJi ClassRoomで授業ノートを開いたとき 「詳細」には、授業ノート名が表示されます。
ユーザー追加	Web管理ツールで、ユーザーを登録したとき 「詳細」には、ユーザー名（ユーザーID）が表示されます。
ユーザー変更	Web管理ツールで、アカウント情報を変更したとき 「詳細」には、ユーザー名（ユーザーID）が表示されます。
ユーザー一括登録	Web管理ツールの「ユーザー一括登録」で、Excel形式ファイルやCSV形式ファイルでユーザーを一括登録したとき
ユーザー削除	Web管理ツールで、ユーザーを削除したとき 「詳細」には、ユーザー名（ユーザーID）が表示されます。
デバイス制限設定変更	
ビルトイン管理ユーザー情報変更	Web管理ツールで、ビルトイン管理ユーザーの情報（admin）を変更したとき
ビルトイン管理ユーザーパスワードリセット	Web管理ツールで、ビルトイン管理ユーザー（admin）のパスワードを変更したとき
パスワード変更	下記のアプリケーションやツールで、パスワードを変更したとき MetaMoJi ClassRoom、授業コーディネーター、MetaMoJi アシスタント
パスワードリセット	Web管理ツールの「ユーザー管理」で「ユーザー情報の変更」画面からパスワードをリセットしたとき
管理者メールアドレスの変更	Web管理ツールで、ビルトイン管理ユーザー（admin）のメールアドレスを変更したとき
ユーザー一覧ダウンロード	Web管理ツールの「ユーザー・クラス管理」＞「ユーザー一括登録」で、Excel形式やCSV形式のデータをダウンロードしたとき
ライセンス証書ダウンロード	Web管理ツールでライセンス証書をダウンロードしたとき
年度・クラス編集 年度・クラス一括登録 クラス分け	Web管理ツールで、操作したとき
カレント年度変更	Web管理ツールで、年度の切り替え操作をしたとき
カスタマイズ設定	Web管理ツールで、カスタマイズ設定を変更したとき
ツールへのアップロード	下記のアプリやツールで、資料をアップロードしたとき 授業コーディネーター、MetaMoJi アシスタント 「詳細」には、資料のファイル名が表示されます。
ツールからノート配布	下記のアプリやツールで、資料を配布したとき 授業コーディネーター、MetaMoJi アシスタント 「詳細」には、［ボックス名］:ノート名が表示されます。

InOutBoxへのファイルアップロード InOutBoxからのファイルダウンロード InOutBoxからのファイル削除	授業コーディネーターのInOutBoxで操作したとき 🛈 詳細には資料名が表示されます。
ノートの削除	MetaMoJi ClassRoomで、マイボックス以外のゴミ箱からノートを削除したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：ノート名が表示されます。
ノートのアップロード	MetaMoJi ClassRoomで、ノートを同期してアップロードしたとき、ノートを作成したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：ノート名が表示されます。
ノートのダウンロード	MetaMoJi ClassRoomで、ノートを同期してダウンロードしたとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：ノート名が表示されます。
メールで送信 アプリへ送る 印刷する エクスポート	MetaMoJi ClassRoomで、ノート編集画面の☰>「送る」から操作をしたとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：［フォルダパス］：ノート名が表示されます。
ノートのアップロード(マイボックス)	MetaMoJi ClassRoomで、マイボックスのノートノートを同期してアップロードしたとき、マイボックスにノートを作成したとき 🛈 詳細には、［マイボックス］：ノート名が表示されます。
ノートのダウンロード(マイボックス)	MetaMoJi ClassRoomで、マイボックスのノートノートを同期してダウンロードしたとき 🛈 詳細には、［マイボックス］：ノート名が表示されます。
ノートの削除(マイボックス)	MetaMoJi ClassRoomのマイボックスのゴミ箱からノートを削除したとき 🛈 詳細には、［マイボックス］：ノート名が表示されます。
ノート移動	MetaMoJi ClassRoomのノートを移動したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：［移動前フォルダ］→［移動先フォルダ］：ノート名1,ノート名2,…が表示されます。
ゴミ箱へ移動	MetaMoJi ClassRoomで、ノートやシェアノートを削除してゴミ箱に移動したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：［フォルダパス］：ノート名1,ノート名2,…が表示されます。
ノート復元	MetaMoJi ClassRoomで、ノートや授業ノートをゴミ箱から復元したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］:ノート名1,ノート名2,…が表示されます。
タイトル変更	MetaMoJi ClassRoomで、ノートやシェアノートのタイトルを変更したとき 🛈 詳細には、［ボックス名］：［フォルダパス］：［変更前タイトル］→［変更後タイトル］が表示されます。

フォルダ作成	MetaMoJi ClassRoomで、フォルダを作成したとき 詳細には、［ボックス名］：［フォルダパス］が表示されます。
フォルダの移動	MetaMoJi ClassRoomで、フォルダを他のフォルダ内に移動したとき 詳細には、［移動フォルダ名］：移動先親フォルダ名が表示されます。
フォルダ削除	MetaMoJi ClassRoomで、フォルダを削除したとき 詳細には、［ボックス名］：［フォルダパス］が表示されます。
フォルダ名変更	MetaMoJi ClassRoomで、フォルダ名を変更したとき 詳細には、［ボックス名］：［変更前フォルダパス］→［変更後フォルダパス］が表示されます。
ボックスに参加	MetaMoJi ClassRoomで、ボックスに参加したとき 詳細には、［ボックス名］：ユーザー名が表示されます。
ボックスに参加者を追加 ボックスから参加者を削除	MetaMoJi ClassRoomで、先生がボックスに参加者を追加・削除したとき 詳細には、［ボックス名］：ユーザー名1, ユーザー名2,…が表示されます。
生徒によるノート操作禁止時のノート作成	MetaMoJi ClassRoomで、ノート操作（作成・移動）が禁止されているとき、生徒により新規作成されたノートが同期されたとき 詳細には、［ボックス名］：ノート名が表示されます。 新規作成されたノートは、マイボックスに送られます。
生徒によるノート操作禁止時のノート競合	MetaMoJi ClassRoomで、ノート操作（作成・移動）が禁止されているとき、生徒により編集されたノートが同期され競合したとき 詳細には、［ボックス名］：ノート名が表示されます。 競合したことで複製されたノートは、マイボックスに送られます。
ノートのコンフリクト	MetaMoJi ClassRoomで、「〜のコピー」というノートが作成されるとき 詳細には、ノート名が表示されます。 同一アカウントで2台の端末で同時に授業ノートを編集しているとき、一方がオフラインになったときにもう一方の端末で同期が行われたのち、オフラインの方がオンラインとなり同期された場合などに「〜のコピー」が作成されます。
ノートのID重複	MetaMoJi ClassRoomで、新規作成したノートと同じIDのノートが存在したとき 通信不良で新規ノートの同期完了が不明な場合に発生します。発生した場合は、IDが変えられ、同じIDだったノートとは別のノートとして再度同期されます。
データの復元	Web管理ツールで、「3.3. データを復元する（P.38）」をしたとき 「詳細」には、［クラスボックス］クラス名／［共有ボックス］ボックス名／［ユーザー］ユーザー名が表示されます。

3.2.4.2. ユーザーの操作ログを確認する

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー一覧］を選びます。

②［登録されているユーザーの一覧］画面で、操作ログを確認したいユーザーの を選びます。

③操作ログを確認します。

3.3. データを復元する

2022年3月のバージョンアップより、誤って削除してしまったユーザーや、クラスボックス・共有ボックスを復元できるようになりました。復元できる期間は、過去10日間です。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［その他］の［データの復元］を選びます。

過去 2 ヶ月間に削除されたユーザーや、クラスボックス・共有ボックスが表示されます。

②[復元]を押します。

「状態」が「復元済み」になり、復元されます。

補足：削除した「ユーザー」の復元について

- マイボックスも復元します。
- ユーザーが所属していたクラスの情報は、すべて消えます。生徒が所属するクラスを再設定してください。

補足：削除した「クラスボックス」の復元について

- クラスとボックス、クラスへ所属していたユーザーの情報が復元可能です。

補足：削除した「共有ボックス」の復元について

- 共有ボックスの参加者はそのまま復元されます。
- オーナーが削除されている場合は、共有ボックスを復元できません。オーナーを復元すると、共有ボックスも復元できます。

3.4. ユーザー情報を管理する

3.4.1 ユーザーの情報を確認・変更する（P.39）
3.4.2 ユーザーを削除する（P.40）

注意：**ユーザーの情報を変更すると、ログインに必要な情報も変わります**
ユーザーに新しい情報を連絡したり、QRコードを再配布したりします。

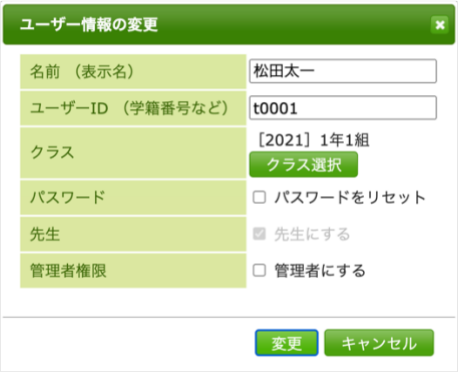
3.4.1. ユーザーの情報を確認・変更する

ユーザーの名前やユーザーID、先生・管理者の設定は、Web管理ツールで確認・変更できます。パスワードのリセットや、所属するクラスを変更することもできます。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー一覧］を選びます。

②［登録されているユーザーの一覧］画面で、変更するユーザーを選びます。

③［ユーザー情報の変更］画面でユーザーの情報を確認・変更し、［変更］を押します。



- Web管理ツールの［一括登録］からユーザーの情報を変更することもできます。操作手順は、MetaMoJi ClassRoom ユーザー登録・年度更新ガイド［新方式］よりご確認ください。
→2.5. Web管理ツールでユーザーや年度・クラスを登録する（P.18）
- 出席番号やクラスボックスのオーナーは、Web管理ツールのクラス別ページから変更します。
→3.5.1.2クラスのメンバーに出席番号を設定する（P.43）
→3.5.1.3クラスボックスのオーナーを変更する（P.43）
- ビルトイン管理ユーザーの情報は、Web管理ツールの［ビルトイン管理ユーザーの設定］から変更します。
→2.3.2ビルトイン管理ユーザーのユーザーIDとパスワードを変更する（P. 16）

3.4.2. ユーザーを削除する

注意：削除するユーザーのデータを引き継ぐ

●削除するユーザーがオーナーの「共有ボックス」「授業ノート」「音声ファイル」
操作⑤で指定したユーザー（先生）に引き継ぐことができます。

●削除するユーザーが「クラスボックス」のオーナーの場合
操作⑤で指定したユーザー（先生）が新しいオーナーになり、そのクラスのメンバーとなります。

●削除するユーザーが「マイボックス」に保存した「ノート」「フォルダ」
操作⑤で指定したユーザー（先生）がオーナーである共有ボックス※1が自動的に作成され、その共有ボックスに保存されます。

※1共有ボックスの名前は、削除するユーザー名が設定されます。

●先生レイヤーに書き込まれた内容は引き継ぐことはできません
ユーザー（先生）を削除すると、先生レイヤーに書き込まれた内容は引き継がれず、削除されます。先生レイヤーに書き込まれた内容を残したい場合は、書き込みをしたユーザー（先生）を削除しないでご利用ください。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー一覧］を選びます。

②［登録されているユーザーの一覧］画面で、削除するユーザーをオンにします。

③［選択ユーザーを削除］を押します。

④［削除されるユーザーの一覧］画面が表示されるので、［削除］を押します。

⑤［ユーザーリソースの扱い］画面で、削除するユーザーのデータの取り扱いを選びます。

- データを先生に引き継ぐ場合
  ［オーナーを変更する］を選び、引き継ぐ先生のユーザーIDを入力します。
  ［リストから選択］を選ぶと、一覧から選べます。
  →3.4.2ユーザーを削除する（P.40）「注意：削除するユーザーのデータを引き継ぐ」
- データを削除する場合
  ［削除する］を選択します。
  この場合、削除するユーザーがオーナーの共有ボックスや、授業ノート・音声ファイルなどのデータが削除されます。MetaMoJiサーバーに保管されたデータもすべて削除されます。

⑥［OK］を押します。

⑦メッセージが表示されるので［OK］を押します。
ユーザーが削除されます。

3.5. クラスを管理する

3.5.1 クラスメンバーの設定を編集する（P.42）
3.5.2 クラスからメンバーを削除する（P.44）
3.5.3 クラスを削除する（P.45）

3.5.1. クラスメンバーの設定を編集する

クラスのメンバーを追加したり、ユーザーの出席番号を設定したり、クラスボックスのオーナーの設定を変更したりできます。

注意：［出席番号］について

［出席番号］は、クラス・出席番号を選んでログインする場合に使用するため、クラス内のほかのユーザーと重複しない数字や文字列を指定します。
先生の出席番号は、［担任］や［副担任］などと入力します。

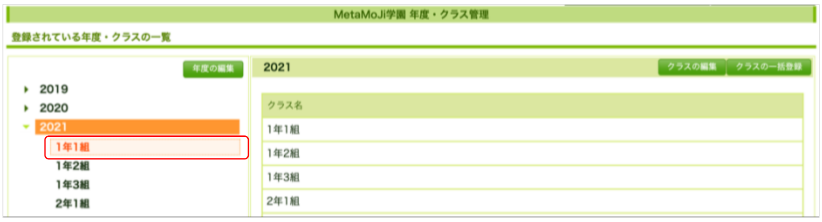
補足：［クラスボックスのオーナー］とは

クラスボックスにあるノートで音声を録音すると、その音声ファイルがオーナーのストレージに保存されます。オーナーは、保存された音声ファイルのダウンロードや削除などの操作ができます。
オーナーに設定できるのは先生だけです。最初にクラスのメンバーとして追加した先生のユーザーが、自動でオーナーに設定されます。

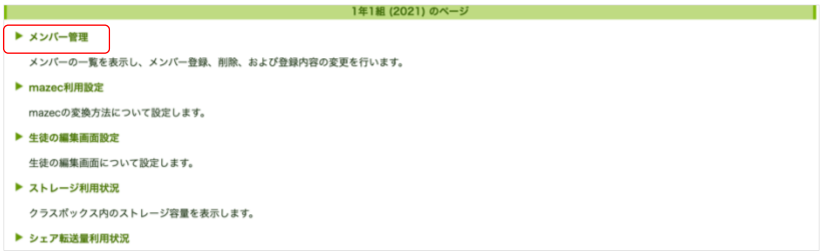
- 1つのクラスボックスに設定できるオーナーは1人です。すでにオーナーがいるときに、ほかの先生をオーナーに設定した場合は、あとの設定が有効になります。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー・クラス管理］＞［年度・クラス管理］を選びます。

②［登録されている年度・クラスの一覧］画面でクラスを選びます。



③選択したクラスのページが表示されるので、［メンバー管理］を選びます。

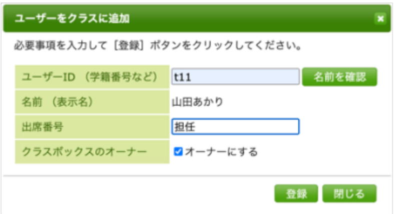


3.5.1.1. クラスにメンバーを追加する

①「3.5.1 クラスメンバーの設定を編集する（P.42）」の手順で、［メンバー管理］を選びます。

②［ユーザーをクラスに追加］を押します。

③以下の情報を入力します。



ユーザーID	［ユーザーID］を入力して［名前を確認］を選ぶと、登録されている［名前］が表示されます。
出席番号	クラス内での出席番号を入力します。先生には「担任」「副担任」など入力します。

④［登録］を押します。

⑤手順③〜④を繰り返して、ユーザーを追加します。

⑥追加が終わったら、［閉じる］を押します。

3.5.1.2. クラスのメンバーに出席番号を設定する

①「3.5.1 クラスメンバーの設定を編集する（P.42）」の手順で［メンバー管理］を選び、出席番号を設定したいメンバーの名前を選びます。

②［メンバー情報の変更］画面で、［出席番号］にクラス内での出席番号を入力します。
先生の出席番号には［担任］［副担任］などと入力します。

③［変更］を押します。

3.5.1.3. クラスボックスのオーナーを変更する

①「3.5.1 クラスメンバーの設定を編集する（P.42）」の手順で［メンバー管理］を選び、オーナーにしたい先生の名前を選びます。

②［メンバー情報の変更］画面で、［クラスボックスのオーナー］の［オーナーにする］をオンにして、［変更］を押します。

3.5.2. クラスからメンバーを削除する

注意：転出する生徒がMetaMoJi ClassRoomを使用できないようにするには

以下の手順で所属するすべてのクラスから削除すると、生徒のユーザーは、ノートの編集ができなくなります（閲覧と書き出しは可能です）。

ユーザーのデータもあわせて削除するには、ユーザーを削除します。

→3.4.2ユーザーを削除する（P. 40）

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー・クラス管理］＞［年度・クラス管理］を選びます。

②［登録されている年度・クラスの一覧］画面でクラスを選びます。

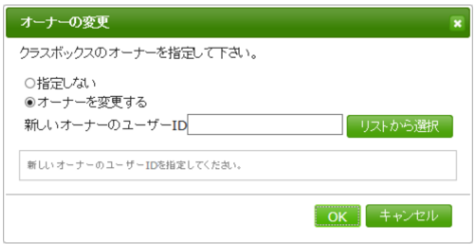
③選択したクラスのページが表示されるので、［メンバー管理］を選びます。

④［登録されているメンバーの一覧］画面で、クラスから削除するユーザーをオンにします。

⑤［選択ユーザーをクラスから削除］を押します。

⑥メッセージが表示されるので、［削除］を押します。

- 削除するユーザーがクラスボックスのオーナーの場合は、新しいオーナーを指定します。［リストから選択］を選ぶと、一覧から選べます。



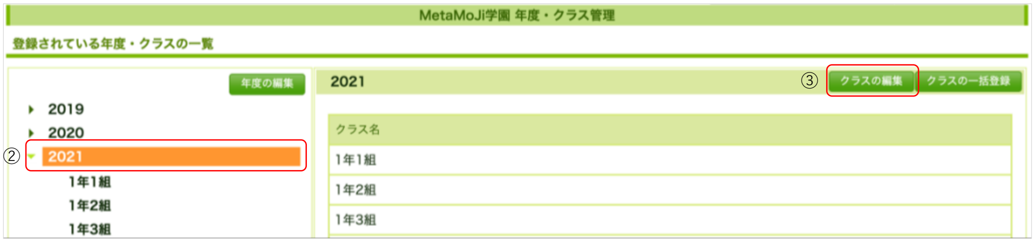
⑦［OK］を押します。

3.5.3. クラスを削除する

注意：クラスを削除すると、クラスボックスや、クラスボックスにあるノートや授業ノートがすべて削除されます
引き継ぎたいデータは、クラスを削除する前に、ほかのクラスボックス・共有ボックスに移動するか、ほかのユーザーに配布します。

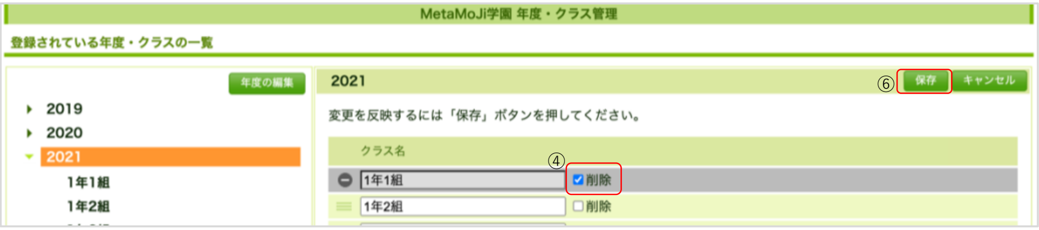
①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P. 15）、［ユーザー・クラス管理］＞［年度・クラス管理］を選択します。

②［登録されている年度・クラスの一覧］画面で年度を選択します。



③右上の［クラスの編集］を選択します。
年度に含まれるクラスを編集できる状態になります。

④削除するクラスの［削除］をオンにします。



⑤削除を確認するメッセージが表示されるので、［OK］を押します。

⑥右上の［保存］を押します。

⑦メッセージが表示されるので［OK］を押します。
クラスが削除されます。

4. こんなときは

4.1. 管理者 ID やパスワードを忘れてしまったら

MetaMoJiのサポート窓口までお問い合わせください。

4.2. ビルトイン管理ユーザーのユーザーID・パスワードを忘れた（オンプレミス版）

Web管理ツールにログインするための管理者パスワードを忘れたときは、このコマンドラインツールを使って再設定することができます。

4.2.1. Linux の場合

①ツールのディレクトリへ移動します。

```
# cd /opt/ebs/tools
```

②sudo でシェルを実行します。

パスワードを聞かれる場合は、ログインユーザー（metamoji）のパスワードを入力します。

```
# sudo sh ResetAdminPassword.sh ［法人 ID］
```

4.2.2. Windows の場合

①管理者権限でコマンドプロンプトを起動します。

②対象とする法人の法人ID を引数に指定して、バッチファイルを実行します。

```
ResetAdminPassword.bat ［法人 ID］
```

4.3. ユーザーID やパスワードを忘れてしまったら

管理者がWeb管理ツールでユーザーIDを確認してパスワードを変更し、ユーザーに連絡します。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログイン（P.15）し、［ユーザー一覧］を選びます。

②確認したいユーザーの名前を押します。
［ユーザー情報の変更］画面が表示されます。

③［ユーザーID］を確認します。

④［パスワードをリセット］をオンにし、表示される入力欄に新しいパスワードを設定します。

⑤［変更］を押します。

⑥ユーザーID と、変更したパスワードを連絡します

4.4. 生徒にパスワードを変更させたい

管理者がWeb管理ツールで生徒によるパスワードの変更を許可すると、生徒はMetaMoJi ClassRoomでパスワードを変更できるようになります。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログイン（P.15）し、［カスタマイズ設定］を選びます。

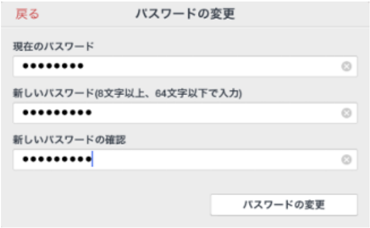
②［生徒によるアカウントのパスワード変更］で、「許可する」を選びます。

③［保存］を押します。

補足：［生徒によるアカウントのパスワード変更］が許可されている場合、生徒は以下の操作でパスワードを変更できます。

1. MetaMoJi ClassRoom を開きます。
2. ノート一覧画面で ＞［アカウント情報］を選びます。
   - ノート編集画面では ☰＞［MetaMoJi ClassRoomについて］＞［アカウント情報］を選びます。
3. ［アカウント情報］画面で、［パスワードの変更］を選びます。

4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、［パスワードの変更］を選びます。



4.5. QR コードを紛失してしまったら

情報の漏洩を防ぐため、管理者がWeb管理ツールでQRコードを紛失したユーザーのQRコードを変更します。QRコードを変更後、新しいQRコードを印刷して配布します。

- QRコードを新しくしても、パスワードは変更されないので使い続けることができます。

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P.15）、［QR コード一覧］を選びます。

QR コードの一覧が表示されます。

②を押します。

③ログインキーの更新を確認するメッセージが表示されるので、［OK］を押します。

④新しい QR コードを印刷し、紛失したユーザーに配布します。

4.6. QR コードを特定のクラスの分だけ印刷したい

①管理者ユーザーで Web 管理ツールにログインし（P.15）、［QR コード一覧］を選びます。

QR コードの一覧が表示されます。

② ［▶クラス別 QR コード一覧］を選びます。

③ ［クラスの選択］が表示されるので、印刷したいクラスを選びます。

④選んだクラスの QR コード一覧が表示されるので、印刷します。

4.7. MetaMoJi ClassRoom にログインできない

表示されるメッセージに応じて対処します。

4.7.1. 「現在年度のクラスに所属しない生徒であるため、ログインできません」と表示される

ログインしようとしているユーザー（生徒）がクラスに所属していないため、MetaMoJi ClassRoomにログインできません。

このユーザーをクラスに所属させてから、再度ログインしてもらいます。

→3.5.1.1クラスにメンバーを追加する（P. 43）

4.7.2. 「同時にログインできるユーザー数の上限を超えています」と表示される

契約プランによって、同時にログインできるユーザー数が決まっています。

上記メッセージが表示されたときは、ログインユーザー数がMetaMoJi ClassRoomの利用可能数量に達したため、ログインできなくなっています。

現在ログインしているユーザーを確認して、使用していない場合はログアウトするようユーザーに連絡します。

→3.2.2ライセンスやストレージの利用状況を確認する（P. 30）

4.8. MetaMoJi ClassRoom からログアウトできない

MetaMoJiサーバーに接続できないときは、同期をとっていないデータや設定の変更内容が破棄されるのを防ぐため、ノート一覧画面の ＞［ログアウト］や、ノート編集画面の ☰ ＞［ログアウト］を選んでもログアウトできません。

強制的にログアウトするには、ノート一覧画面の ＞［アカウント情報］＞［強制的にログアウトする］を選びます。

強制的にログアウトすると、同期をとっていないデータや設定の変更内容は破棄されます。

5. 技術情報

5.1. プロキシサーバーやフィルタリングソフトを経由して利用する場合

プロキシサーバーやフィルタリングソフトを経由して利用する場合、MetaMoJi ClassRoomの通信をURLフィルタリングやコンテンツフィルタリング（SSLデコードを含む）の対象から除外してご利用ください。

除外しない場合、次のような現象が起こる可能性があります。

- ログインや同期ができない、または時間がかかる。
- 授業ノートに接続できない、または時間がかかる。
- 授業ノートの接続が切断される。
- その他の接続不良や性能劣化が生じる。

MetaMoJi ClassRoomの通信は、HTTPS通信を模した独自プロトコルを含みます。
プロキシサーバーやフィルタリングソフトに対して、下記のURLを、URLフィルタリングやコンテンツフィルタリング（SSLデコードを含む）の対象から除外するように設定してください。
SSL/TLS接続に必要となる認証局などへの接続も必要となる場合があります。

```
*.metamoji.com/*
*.cloudfront.net
```

「*」は任意の文字列を示します。各フィルタリングソフトの仕様に従って「metamoji.com」や「*.metamoji.com」のように設定してください。

一括で設定できない場合は、以下のすべてのURLを設定してください。

①https://mps.metamoji.com/*

②https://cdn.metamoji.com/*

③https://product.metamoji.com/*

④https://*.cloudfront.net/*

●Web 管理ツールにログイン後の URL が「mps101.metamoji.com」の場合

⑤https://mps**101**.metamoji.com/*

⑥https://mps**101a-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101b-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101c-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101d-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101e-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101f-ssl**.metamoji.com/

https://mps**101g-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101h-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101i-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101j-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101k-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101l-ssl**.metamoji.com/
https://mps**101flora**.metamoji.com/
（2023 年 10 月現在。今後も追加される場合があります。）

●Web 管理ツールにログイン後の URL が「mps501.metamoji.com」の場合

⑤https://mps**501**.metamoji.com/*
⑥https://mps**501a-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501b-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501c-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501d-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501e-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501f-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501g-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501h-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501i-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501j-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501k-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501l-ssl**.metamoji.com/
https://mps**501flora**.metamoji.com/
（2024 年 9 月現在。今後も追加される場合があります。）

次の環境で動作確認を行っています。

・Squid 3.1.10
・i-Filter ブラウザー＆クラウド MultiAgent for iOS

MetaMoJi ClassRoomではOSの次の場所で設定しているプロキシサーバーの情報が利用されます。

iOS の場合

［設定］ > ［Wi-Fi］のネットワーク設定の［HTTPプロキシ］ > ［手動］または［自動］

- ［認証］がオンの場合には対応していません。

Windows の場合

［設定］＞［ネットワークとインターネット］＞［プロキシ］

Android の場合

［設定］＞［ネットワーク］＞ご利用中の［Wi-Fi］＞［ネットワーク］

5.2. MDM によるログイン情報の配布（iOS 版）

Managed App ConfigurationまたはApple Configuratorを利用して、MetaMoJi ClassRoomのログイン情報の初期値を、MetaMoJi ClassRoomがインストールされたデバイスに配布することができます。

5.2.1. 指定できるキー

すべて任意です。指定されているキーの値がログイン画面に反映されます。

キー	データ型	説明
cid	文字列	**【クラウド版】** 学校IDを指定します。 **【オンプレミス版】** 学校IDとサーバーURLを次の形式で指定します。 http://server.com/?cid=MP123456 下線部は、お客様のMetaMoJiサーバーのサーバーURLと学校IDに変更してください。
uid	文字列	ユーザーIDを指定します。
pwd	文字列	パスワードを指定します。 暗号化されません。

5.2.2. Apple Configurator 用配布書類

Apple Configurator用配布書類は、Web管理ツール（P.15）の［ダウンロード／リンク］からダウンロードできます。

cidキーが記述されているので、適宜変更して使用します。

ファイル名	com.metamoji.configuration.json
形式	JSON
文字コード	UTF-8